

「みちのく潮風トレイル」がBritish Guild of Travel Writers発表のInternational Tourism Awardsに入選しました

イギリス国内の記者、カメラマン、放送局等で構成されるイギリストラベルライター組合（BGTW：British Guild of Travel Writers）は、毎年、組合に所属している記者等からの推薦により卓越した観光の取組みに対し、「国際ツーリズム賞」（ITA：International Tourism Awards）を選定しています。本賞は4部門があり、「みちのく潮風トレイル」は、日本国内在住のイギリス人ライターの推薦により欧州域外部門（Best Wider World Tourism Project）で最終選考6プロジェクトの1つに選出されました（金・銀・銅賞の選考は3月の予定です）。

2019年10月に世界的な旅行ガイドブック「ロンリープラネット」の「Best in Travel 2020」において東北が3位に選出され、同年11月に有力誌「ナショナルジオグラフィック」の2020年版の「Best Trips」において冒険部門で東北が選出されました。さらに2020年1月にイギリス日刊高級紙「ガーディアン紙」の「2020年に行くべき20の場所」に福島県が選出されるなど、短期間に次々と世界的な高評価をいただいております。今回の入賞もこれに続く快挙と考えております。

2021年は東京2020オリンピック・パラリンピックと合わせて世界からの注目度がますます高まるなか、4月より実施される東北デスティネーションキャンペーンに向けて、東北域内の自治体、観光地域づくり法人や観光事業者等と連携した受入環境整備を進めて行くとともに、コロナ禍により海外の渡航が制限される中で、リモートでの新しい観光プロモーションの実施・拡充等新しい生活様式に即した取組みを推進してまいります。

Michinoku Coastal Trail, Honshu, Japan

Nominated by Rob Goss

In 2011, a tsunami struck the eastern coast of Japan's Tohoku region, claiming 18,000 lives and devastating communities. As part of the rebuilding effort, Tohoku created a new, multi-section 1000km hiking trail (officially completed in 2019) that connects the recovering coastal communities.



Called the Michinoku Coastal Trail, it aims to bring more travelers to the region (with the hope that tourism can help sustain this off-the-beaten-path as part of Japan's long-term economic and recovery strategy from the recent earthquake) and around the trail.

【BGTW公式ホームページ】

東北デスティネーションキャンペーン～「TOHOKUサポーター」大募集中です

10月30日から募集を開始した「TOHOKU サポーター」（「Welcome to TOHOKU隊」、「TOHOKU Fan」の総称）の登録件数が1,000件を越えました。

●「Welcome to TOHOKU隊」とは

東北6県にお住いの皆様を対象に、東北DC期間中に東北を訪れたお客さまに対するおもてなしを宣言し、実践していただきます。

※登録いただくと認定証を発行。認定証を交換窓口に提示いただくと、オリジナル缶バッジを差し上げます（企業、団体は郵送します）。

●「TOHOKU Fan」とは

東北6県以外にお住まいの方が対象です。SNSやブログで東北の魅力を発信したり、実際に東北を旅行してその魅力を家族や友人に伝えるなど、域外から東北DCを応援いただきます。

※登録いただくと認定証を発行（企業、団体は郵送します）。

2021年8月31日まで募集します。登録いただいた内容は東北DCホームページ上で公開し、皆様で東北DCを盛り上げていきます。引き続き多くの方のご登録をお待ちしています（<https://www.tohokukanko.jp/dc/>）。

[illegible]

【缶バッジと認定証】

「東北・新潟応援！絆キャンペーン～旅を楽しもう～」の情報発信に取り組んでいます

● 新たな旅の楽しみ方を提案しています

様々なテーマに沿った東北・新潟の旅の楽しみ方を特設サイト内の特集記事でご提案しており、「ジブリの世界を感じる東北旅」「工場・工房見学旅」を新たに掲載しました。

●引き続き、動画の閲覧と、SNS等での拡散をお願いします！

特設サイト <https://www.tohokukanko.jp/kizuna>

【特集記事の掲載】



第5回「新しい東北観光シンポジウム」に松木会長、紺野専務が出席しました（2020年11月28日）

「Withコロナの～新・新しい東北の観光を考える～」をテーマに第5回「新しい東北観光シンポジウム」が開催され、第1部開会セレモニーにおいて、国土交通省大臣官房長、宮城県副知事、仙台市長に続いて、松木会長が来賓祝辞を述べました。また第3部パネルディスカッションにおいて紺野専務がパネラーとして参加し、観光庁観光資源課長、宮城インバウンドDMO代表理事とともに、コロナ禍における東北の新しい観光に向けた課題や取り組みなどについて、活発な意見交換を行いました。



【松木会長挨拶】



【パネルディスカッション】

第1回東北教育旅行オンラインセミナーを開催しました（2020年11月20日）

東北6県及び新潟県の学校関係者、旅行会社及び受入関係者等を対象に、東北地方や新潟県への教育旅行の誘致を目的としたオンラインセミナーを開催しました。

セミナーでは、公益財団法人全国修学旅行研究協会の守屋常務理事による「コロナ禍における修学旅行の在り方」についての講演のあと、「だからこそ〇〇県で学ぶ」というテーマで各県の教育旅行における強みについてプレゼンを行いました。第2回のセミナーは、全国の学校関係者や旅行会社等を対象に、1月21日（木）に実施する予定です。



【セミナーの様子】



【本セミナーが取材を受けた様子】

復興庁「新しい東北」交流拡大モデル事業成果発信業務・マッチング商談会を開催しました（2020年11月17日）

東北ランドオペレーターと観光コンテンツ事業者のマッチング商談会を仙台で開催しました。コロナ禍において初めての商談会となりますが、ランドオペレーター12社、観光コンテンツ事業者18社、計45名に参加いただきました。第一部ではランオペの仕事を理解するための講演を行い、第二部では18セッションの商談会を実施しました。本商談会をきっかけに、両者が相互に情報発信し合うネットワークの構築をサポートしてまいります。



【ランドオペレーター講演】



【商談会の様子】

オーストラリア「Snow Travel Expo 2020」バーチャルイベントに出展しました（2020年11月27日）

コロナ禍の影響により、オンラインのバーチャルイベントに変更された「snow travel expo2020」に出展し、東北のスノーリゾートをPRしました。

バーチャルイベントは、事前収録した約20分間のPR動画がスケジュールに沿って主催者のデータベース登録者約2万人に配信されるとともに、主催者ホームページに掲載されました。コロナ禍にあって、オーストラリアのスキー層に対して東北のスノーリゾートをPRでき、一定の認知度向上につながりました。

引き続き、東北の強みである「スノーリゾート」についてPR施策を重層的に展開し、認知度向上を図ってまいります。



【動画の様子】

タイ旅行業協会と連携してオンラインセミナーを開催しました（2020年11月10日）

タイ旅行業協会（TTAA）と共催でオンラインセミナーを開催し、コロナ禍の影響が長期化する中でも依然として訪日意欲が高いタイ市場に対して、東北の観光地の現状を伝えるとともに、改めて東北の魅力を伝えました。

当日はTTAA役員、現地旅行会社、航空会社（タイ国際航空）及びメディア等約30名が参加して行われ、またセミナーの様子はTTAAのニュースレターでTTAA会員各社に広く紹介される等の反響がありました。

今後もWEBツールを活用しつつ、タイを始め様々な市場に情報発信をしてまいります。



【セミナーの様子】

在日フランスメディアを招請しました（2020年11月11日～13日、11月23日）

フランス市場の訪日関心層をターゲットに、首都圏からの快適なアクセスや東北固有の手つかずの自然景観といった「本物の日本」が体験できるエリアとして東北を発信・訴求するため、在日のフランスメディアの招請を行いました。

11月11日～13日は福島県奥会津のJR只見線沿線を中心に取材いただき、11月23日は秋保温泉をはじめとした秋保地域を取材いただきました。いずれの取材も昔ながらの文化が残るスポットや東北の方の人間の温かさに感動を受けた、という感想でした。

今後もコロナ禍を踏まえた海外への観光プロモーションを継続的に実施し、2019年度世界的に有名な旅行雑誌等で選出された「東北（TOHOKU）」の更なる認知度向上・誘客促進を図ってまいります。



【鶴ヶ城】



【秋保神社】

在日中国人インフルエンサーを招請しました（2020年10月28日～11月2日、11月6日～10日）

健康や運動への関心が高まっている中国市場の上海エリアについて、中国国内マラソン愛好家や運動好きの女性に影響のあるインフルエンサーを招請し、中国の一般消費者に対して東北地域の観光の魅力を発信しました。

第1弾として10月28日～11月2日で、健康好きな女性をターゲットに体験アクティビティを多く含めた内容で青森県・秋田県・宮城県の取材をしていただきました。

第2弾として11月6日～10日で、中国のマラソン愛好家向けの発信として、東北各地のマラソンコース視察及びその周辺の観光地取材を岩手県・山形県・福島県・新潟県で実施しました。

今回、現地を取材していただいた原稿やネタを中国在住のインフルエンサー合計20名に情報提供し、現地から発信する予定です。

今後も、コロナ禍に対応した情報発信を継続してまいります。



【十和田市美術館】



【マラソンコース視察】

在日フィリピン人インフルエンサーを招請しました（2020年11月1日～6日）

フィリピン市場の訪日関心層をターゲットに、フィリピン人が好む「紅葉」を中心に東北の魅力を発信するため、在日フィリピン人インフルエンサーの招請を行いました。

新潟県、福島県、宮城県を周遊し、インフルエンサーには紅葉はもとより、アクティビティや着付けなど、東北の魅力を存分に体験していただきました。



【ロッテアライ
リゾート妙高高原】



【五色沼】



【鶴ヶ城】



【仙台城】

在日マレーシア人インフルエンサー等を招請しました（2020年11月8日～12日）

東南アジア、特にマレーシア及びインドネシアのムスリム層における東北の認知度向上を図ることを目的として、日本在住のムスリムのインフルエンサー及び東南アジアのムスリムコミュニティに広く支持されているメディア「Have Halal Will Travel」の日本在住ライター（いずれもマレーシア人）を招請し、東北の紅葉やムスリムフレンドリーな観光スポットを取材しました。

信仰上の理由から食事や礼拝等特段の配慮を要するムスリム旅行者ですが、アレルギー対応同様十分な配慮を行えば東北でも楽しんでいただけるコンテンツは数多くあり、海産物を中心とした美味しい食や、ちょうど見頃を迎えていた松島や山寺の紅葉が高い評価を受けました。

今後も引き続き東南アジアムスリム層への情報発信を行ってまいります。



【山寺】

欧米・アジア各国出身在日インフルエンサー・メディアを招請しました

四季をはじめとする東北の魅力を幅広く発信し、2021年度以降の継続誘客に繋げることを目的に、欧米やアジア各国出身の在日インフルエンサー及びメディア招請を実施しました。

【秋田コース（2020年11月2日～3日）】

秋田コースでは、アメリカ人インフルエンサー1名を招請し、乳頭温泉郷や角館武家屋敷通り等を訪問しました。参加者からは、田沢湖の青々とした湖面と周囲の山々の紅葉、新緑との色のコントラストは、非常に人気があるコンテンツになると高く評価していただきました。



【乳頭温泉郷（秋田）】

【山形コース（2020年11月4日～5日）】

山形コースでは、中国人インフルエンサー2名を招請し、山寺や銀山温泉等を訪問しました。参加者からは、袴に着替えての夕景の銀山温泉での撮影について、非常に高い評価をいただきました。



【銀山温泉（山形）】

【宮城コース（2020年11月6日～7日）】

宮城コースでは、ベトナム人インフルエンサー1名を招請し、鳴子峡や松島等を訪問しました。参加者からは、農家レストランでは、古民家の雰囲気や、季節の食材を使った料理が、フォトジェニックで、ベトナムの若い世代に非常に訴求力が高いと評価していただきました。



【農家レストラン（宮城）】

【青森コース（2020年11月8日～9日）】

青森コースでは、イギリス人インフルエンサー1名を招請し、黄金崎不老心死温泉、岩木山神社の訪問や青森の食体験等を行いました。参加者からは、多様なアップルパイやジビエ料理といった青森の食文化が非常に印象的との評価をいただきました。

【岩手コース（2020年11月10日～11日）】

岩手コースでは、台湾人インフルエンサー1名を招請し、中尊寺や毛越寺、達谷窟毘沙門堂等を訪問しました。参加者からは、達谷窟毘沙門堂は岩肌にのめりこむように建てられているのが非常に面白くコンテンツとして良いとのご意見をいただきました。また、全体を通して紅葉のスポットが多かったが、それぞれ中尊寺金色堂や猊鼻溪舟下りなど、異なる魅力を感じられたとの評価をいただきました。

【福島コース（2020年11月12日～13日）】

福島コースでは、タイ人インフルエンサー2名を招請し、猪苗代湖や五色沼等を訪問しました。参加者からは、原風景が多く残る猪苗代湖畔の風景について、湖面に映った青空と新雪の磐梯山や周囲の山々の紅葉など色のコントラストは本国にない風景であるため、タイ人には新鮮で好評だと思う、と高い評価をいただきました。

【メディアコース（2020年11月16日～19日）】

アメリカ出身の在日メディアを招請し、秋田県、山形県及び福島県を訪問しました。参加者からは、村山居合振武館での居合体験や男鹿真山伝承館でのなまはげ体験が非常に好評でした。特に、なまはげ体験については、「なまはげ体験は非常に有意義だったので、ぜひ12月31日に民宿で体験がしたい。」との意欲的な声をいただきました。



【アップルパイ巡り（青森）】



【達谷窟毘沙門堂（岩手）】



【猪苗代湖付近の紅葉（福島）】



【なまはげ体験（秋田）】

風評被害払拭を目的とした在日メディアを招請しました（2020年10月29日～11月1日）

太平洋沿岸地域の現在の姿や美しい自然等の魅力を発信し、2021年度以降の継続的な誘客に繋げることを目的に、韓国及び香港出身の在日メディア招請を実施しました。韓国メディアからは、潮風トレイルについて本国でもトレッキングは特に40代以上の健康に気遣う世代に人気があるため、韓国に好評だと思う、と高い評価をいただきました。また、香港メディアは、浄土ヶ浜での「青の洞窟」について、青く透明な海を撮影できて本当に良かったとの声をいただきました。



【浄土ヶ浜】

東北本線一ノ関～盛岡間開業130周年＆東北DC開催記念フォーラムで紺野専務が講義を行いました（2020年11月1日）

紺野専務が「東北観光の活性化について～東北観光の取り巻く環境と東北DCの取組み～」と題して講演を行い、コロナ禍や東北の人口減少をふまえ、観光による関係人口の増加の必要性をデータを示しながら説明し、現在展開中の「東北・新潟応援！絆キャンペーン」や、2021年4月からの「東北DC」など東北観光の活性化についてお話ししました。東北DCに向けて、広域や各県での特別企画の進捗状況や、東北DCをみんなで盛り上げる「TOHOKUサポーター」の登録についてもお話ししました。



【講演の様子】

JR東日本山形地区合同フォーラムで紺野専務が講演を行いました（2020年11月4日）

「山形地区『変革2027』で描く未来の実現に向けた合同フォーラム」において、紺野専務が「東北観光の活性化について～東北観光の取り巻く環境と東北DCの取組み～」と題して講演を行いました。

東北DCに向けて、観光コンテンツや受入体制の進捗状況など説明し「TOHOKUサポーター」の登録も含め地域全体で盛り上げていくことについてお話ししました。



【講演の様子】

第3回フェニックス塾を開催しました（2020年11月12日、13日）

今年度第3回となる「フェニックス塾」を福島県会津若松市で開催しました。11月12日にセミナー、13日にエクスカージョンを開催し、それぞれ34名、29名の塾生が参加しました。

【11/12・第一部】セミナー

講師：見並陽一氏（株式会社びゅうトラベルサービス顧問）

テーマ：「観光振興と地方創生」

【11/12・第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「コロナ禍をふまえ、東北地域に国内外からの旅行者を誘致するには」をテーマに話し合いました。

【11/13】

会津若松市の二瓶観光課長より「会津若松市の取り組みについて」、七日町通りまちなみ協議会庄司副会長より「七日町の観光まちづくりについて」、それぞれご講話をいただいた後、実際に七日町通りを歩き、地域における具体的な観光地の取組みを学びました。



【セミナーの様子】



【エクスカージョン講話の様子】

第14回理事会を開催しました（2020年11月26日）

第14回理事会を開催し、新規入会会員の件、2020年度補正予算の件について審議を行い、異議なく承認されました。その結果、東観推の会員数は232団体となりました。

また、2020年度上期事業報告および下期事業計画についての報告のほか、第5期中期計画（骨子）、2021年度事業計画（骨子）、東北デスティネーションキャンペーンの今後の展開について、など意見交換を行いました。

第7回6誘致協・6旅ホ連会議を開催しました（2020年11月4日）

各旅行会社の旅館ホテル連盟、協力店会の代表者、各県の観光誘致協議会の代表者の方々と、東北・新潟応援！絆キャンペーン、東北デスティネーションキャンペーン、2021年度事業計画（骨子）などについての意見交換を行いました。

JNTOマーケティング研修会（オンライン）のご案内（2020年12月17日）

訪日インバウンド誘致の取組みを行っている皆様を対象に、JNTO（日本政府観光局）の最新のマーケティングやプロモーション手法を具体的かつ東北に沿った内容で紹介する研修会です。例年仙台での開催ですが、今回はオンラインでの開催です。是非、ご参加ください。

日時：2020年12月17日（木）14:00～16:00（オンライン）

講演内容：①「ウィズコロナ/アフターコロナ時代の訪日プロモーション」

②「新たな時代におけるデジタルマーケティング」

③「オープンデータからみる地域特性と分析手法」

冒頭、東北観光推進機構のマーケティングの取組みについても講演します。

申込期限：2020年12月16日（水）正午まで

申込先：<https://comm.stage.ac/JNTO/regist/index.html?place=10>



クチコミセミナーのご案内（2020年12月8日～22日）

国内外からのお客様への情報発信において「クチコミ」を誘客の武器として活用するため、クチコミサイトの基礎知識や活用事例について解説します。第1部ではトリップアドバイザーの基礎知識や使い方を、第2部ではクチコミサイトの活用方法や地域活用事例・返信のポイントについてご紹介します。

各会場にご参加できるほか、オンラインでの同時配信も行いますので、現地に来れない場合でもご視聴が可能となっておりますので、是非、ご参加ください。

【青森】2020年12月8日（火）14～16時	弘前市民会館 2階 第一・第二会議室
【岩手】2020年12月9日（水）14～16時	一関文化センター 小ホール
【秋田】2020年12月10日（木）14～16時	仙北市角館交流センター
【山形】2020年12月16日（水）14～16時	中部コミュニティセンター
【福島】2020年12月17日（木）13～15時	いわき湯本温泉 旅館いこと
【宮城】2020年12月18日（金）14～16時	古川商工会議所 第5研修室
【仙台】2020年12月22日（火）14～16時	仙台トラストタワー11階 第1会議室

申込みや詳しい内容はホームページをご覧ください

（「お知らせ」の「セミナー」のタブをクリックしてご覧ください）

<https://www.tohokukanko.jp/business/topics/index.html>



第2回東北教育旅行セミナーのご案内（2021年1月21日）

本年度中止になった「東京セミナー」「福岡セミナー」の代替案として、東北教育旅行誘致部会や、東北域内の関係者と一体となったオンラインセミナーを開催致します。是非、ご参加をお待ちしております。

日時：2021年1月21日（木）10:00～17:00 ※全国の方々向け

定員：1,000名様

申込みや詳しい内容はホームページをご覧ください

（「お知らせ」の「セミナー」のタブをクリックしてご覧ください）

<https://www.tohokukanko.jp/business/topics/index.html>



多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。

申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.027 2020年12月11日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！